

# カトリック河原町教会だより

## 2020年3・4月

### 2020年四旬節教皇メッセージ（一部抜粋）

「キリストに代わってお願いします。神と和解させていただきなさい」（二コリント 5・20）

親愛なる兄弟姉妹の皆さん

イエスの死と復活という偉大な神秘を新たな心で記念するために備えるのにふさわしい季節を、主は今年もまた、わたしたちに与えておられます。この神秘こそが、個人、共同体としてのキリスト者の生活の礎です。わたしたちは心と思いを尽くして、絶えずその神秘に立ち返らなければなりません。わたしたちがその霊的な力にすすんで関わり、広い心で自由に応えて受け入れるほど、その神秘はわたしたちのうちで広がり続けます。

#### 1. 過越の神秘、それは回心の基盤

イエスの過越は過去の出来事ではありません。聖霊の力によって、つねに今ここにある出来事です。そして、わたしたちが苦しんでいる多くの人々のうちに、信仰によってキリストのからだを見て触れられるようにしてくれるのです。

#### 2. 回心の緊急性

過越の神秘をより深く観想することは、皆さんのためになることです。神のいつくしみは、その神秘を通して与えられるのです。祈りは、義務というよりはむしろ、つねにわたしたちに先立ち、わたしたちを支えてくださる神の愛にこたえる必要の表れです。祈りにはさまざまなかたちがありますが、神の目から見て真に大切なことは、祈りがわたしたちの心の奥を深く掘り下げ、心のかたくなさを和らげているかどうかです。それによりわたしたちは、よりいっそう神とそのみ旨へと向かう回心ができるのです。

#### 3. ご自分の子らとの対話を望まれる神の熱意

教会生活や世界と同様、わたしたちの生活に、ときに劇的にすらなる悪の存在があるにもかかわらず、わたしたちの生き方を変えるためにこの季節が与えられているということは、わたしたちとの救いの対話を途切れさせたくないという神の揺るぎない熱意の表れなのです。



#### 4. 独り占めせずに分ち合う富

自分の所有物を、施しを通して困窮している人に分け与えるよう、善意の人々に呼びかけることは、今日においても重要なことです。施しは、より公正な世界を築くために個人として参与する一つの方法です。愛のわざを通して分け与えることは、人をより人間らしくします。

神と和解させていただきなさいという呼びかけをわたしたちが受け入れ、過越の神秘を心の目で見つめ、神との開かれた真摯な対話に心に向けることができるよう、至聖なるマリアの執り成しをこの四旬節に願い求めます。そうすればわたしたちも、キリストが弟子たちになるようにと言われた、地の塩、世の光（マタイ 5・13-14 参照）となることができるでしょう。

フランシスコ

## 洛東ブロック四旬節黙想会 “すべてのいのちを守るため”

2月29日(土)午前10時から河原町教会聖堂にて一場修神父指導のもと、四旬節黙想会が開催されました。計画では途中休憩をはさんで午後4時迄の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため午前中で終了になりました。約1時間の講話の後、正午まで黙想と希望者にはゆるしの秘跡が授けられました。

一場神父は、昨年来日された教皇フランシスコ訪日講話集から大切な部分をレジメにまとめてご説明くださいました。「いのち」は神を根源とし、すべてが繋がっています。過去と現在と未来、空間と時間を超えてのつながりを意識するとき、「いのち」への感謝と尊敬が生まれます。「いのち」をじっと見つめるまなざしをもつこ

と、味わい観想することで神から受けたたまものを見だし、「いのち」を愛することができます。そして私たちの共通の家である地球を守る大切さに気付きます。無関心と孤独の支配する現代社会の中で、私たちの教会は、すべての「いのち」を喜び祝い、ともに生きる場所であるという一場神父のお言葉に参加者は力をいただきました。

今日の黙想会は、四旬節の黙想のはじまりとして「いのち」へのまなざしを深めていく良い機会となりました。参加者は、頂いたレジメと教皇フランシスコの長崎でのミサ説教のこぼれを糧として、実り多い四旬節を過ごすことと思います。

(広報部員)



## ぶどうの会新年会

1月26日(日)10時半のミサ後、ぶどうの会新年会が開催されました。早弓氏の司会のもと一場神父のお祈り、続いて代表の方々の挨拶があり、食事をとりながら「教皇フランシスコ来日ビデオ」を鑑賞

しました。食後は、キッチン亭蝶味氏の落語鑑賞と聖歌の合唱で楽しい時間を過ごしました。



## キリスト教一致祈禱週間 超教派合同礼拝



1月26日(日)当教会にて、京都キリスト教協議会(KCC)主催「キリスト教一致祈禱週間 超教派合同礼拝」が捧げられました。

今年のテーマは『人々は大変親切にしてくれた』(使徒言行録 28・2)で、主司式は日本ナザレン教団上京教会牧師 川村哲嗣師(KCC 会長)により執り行われ、約1時間の合同礼拝では、同志社大学神学部 梅田玲奈氏と河原町教会信徒 越知謙之助氏の聖書朗読、日本基督教団洛西教会 柳井一朗牧師の福音朗読に続いて大塚喜直司教の説教がありました。説教では、今回のテーマから、ひとを

親切にもてなすキリスト者の

使命について解説され、昨年来日された教皇フランシスコの言葉「あらゆるものはつながっている」についても言及されました。「わたしのいのちはそれだけで存在しているのではなく、地球の様々な生物、貧しい人、他の国の人、病人や、高齢者、障がい者、子どもたち、また次世代の人々ともつながっています。このいのちのつながりを生きることが、神の定めた秩序であり、神が望む平和です。日本のキリスト教会は少数派ですが、『すべてのいのちを守るため』そして、『よりよい未来をひらくため』現代の複雑な問題の中へ、福音宣教のために出ていかななくてはなりません。そうすれば、主のみ手が私たちを守り、力づけてくださるでしょう」と語られました。また、礼拝では河原町教会聖歌隊による讃美歌奉仕もあり、教派を超えて共に祈るひと時を過ごしました。尚、司会是一场神父が務めました。

(広報部員)



## 河原町教会総会

2020年度河原町教会総会が1月19日にヴィリオンホールにて開催され、行事報告、決算報告、監査報告、行事予定、予算案説明等スムーズに行われました。

尚、ユン神父にご参加頂き司祭挨拶と祝福をして頂きました。



## 日本二十六聖人殉教者記念ミサ

2月11日(祝・火)14時からカトリック西陣教会にて、カマチヨ神父・ルカ神父共同司式で「日本二十六聖人殉教者記念ミサ」が捧げられました。ミサ後のカマチヨ神父の講話では、二十六聖人の一人、聖フィリッポ・デ・ヘスはメキシコ人であり、ご自身の属するグアダルペ宣教会もメキシコカトリック司教団が設立した宣教会であると、その歴史についてお話し下さいました。そして、イエス様の教えを伝えるため、多くの祈りにより聖霊の働きがあるよう願われました。



## ◇ 2020年4月～5月の行事予定 ◇

(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
4	5	日	[受難の主日(枝の主日)](司祭団が会衆なしで行います) (世界青年の日)
	8	水	教区聖香油ミサ(司祭団が会衆なしで行います)
	9	木	[聖木曜日(主の晩餐)](司祭団が会衆なしで行います)
	10	金	[聖金曜日(主の受難)](司祭団が会衆なしで行います)(大斎・小斎)
	11	土	[聖土曜日]復活徹夜祭(司祭団が会衆なしで行います)
	12	日	[復活の主日](司祭団が会衆なしで行います)
	19	日	[復活節第2主日](神のいつくしみの主日)
5	26	日	[復活節第3主日]
	3	日	[復活節第4主日](世界召命祈願の日)
	10	日	[復活節第5主日]
	17	日	[復活節第6主日](世界広報の日)
	24	日	[主の昇天](復活節第7主日)
	31	日	[聖霊降臨の主日]

河原町教会のミサ、  
集会、講座に  
つきまして

新型コロナウイルス感染症対応の為、4月19日(日)まで中止しています。  
4月20日(月)以降の対応については状況を見定め専門家の意見を聞きながら決定されます。  
最新の情報につきましては当教会の公式ウェブサイトにて随時掲載していますので適時ご確認ください。

## お知らせ(敬称略)

## ◆洗礼 おめでとうございます

2020.1.13 クララ・フランシスカ 佐々木 敬子

## ◆転入 ようこそ 河原町教会へ

2020.1.27 アンドレア 山田 陽平

2020.2.5 ジェンマ・ガルガニ 高井 住子

2020.2.9 クララ 末永 秀子

## ◆転出 どうぞお元気で

2020.1.28 マリア・ヨハンナ・メルセデス 前川 悦子

2020.2.19 マリア・マクダレーナ 森本 久美子

## 2020年度洛東ブロック年間計画が決まりました!

## 洛東ブロック長期計画

(2016年4月1日から2021年3月31日まで)

「洛東ブロックは、2026年の京都南部地区小教区統合を見据え、2016年4月からの5年間、各小教区固有の歩みを尊重しながら、ブロック共同体づくりを進めていく。」

そのために、

1. ブロック全体に開かれた分かち合いの場を設け、小教区間のつながりを深めていく。
2. 各小教区固有の学び、祈り、活動(地域との交わり、国際協力など)、交流行事をブロック共同体の福音宣教活動として共有する。
3. ブロック内小教区の多様性を活かしながら、ブロック全体として取り組める福音宣教の可能性を模索する。

## 2020年度洛東ブロック年間計画

1. 「すべてのいのちを守るため」をテーマに四旬節黙想会、平和旬間行事(ミサと学習)を行う。
2. 子どもとともにささげるミサ、中高・青年の集い、テゼの祈りを行う。
3. 「病者の日」(ミサ)、「エコロジーと防災の日」(ミサと学習)、国際交流ミサを行う。
4. 「いのち・平和・環境」の集い(分かち合い)を年3回行う。



Instagramをやっています!

catholickawaramachi

カトリック河原町教会だより 2020.3・4 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 担当司祭:一場 修

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021

URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>